



Ray Klingensmith

レイ・クリンギンスミス
2010-11年度 国際ロータリー会長



No.8

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

- ロータリーの優しさと思いやりを地域へ
- ①高砂ロータリークラブの歴史と伝統を学ぼう
 - ②職業奉仕と親睦の実践
 - ③友愛奉仕基金の主旨を再確認
 - ④ロータリー活動を広報し、地域に広めよう

例会記録 (2010. 8. 27 (金)) 通算2,816回

◆開 会

◆唱 歌

ロータリーソング (我等の生業)

◆「四つのテスト」唱和

◆来訪ロータリアン

高砂青松 R. C 廣瀬明正会員

◆プログラム予定

9月3日 (金)	9月10日 (金)	9月17日 (金)	9月24日 (金)
クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 ガバナー柴田整宏様	卓 話 自己紹介 寺崎道雄会員	高砂青松 R. Cとの 合同例会 12:30～ 於: ウェディングパレス 鹿島殿	移動例会 9月24日→10月3日 に変更 京都

◆出席報告

本日 8月27日 会員数49名 出席者 37名 出席率80.43%
前々回 8月 6日 会員数48名 修正出席者46名 出席率100%修正

◆MAKE-UP

守光 隆会員 国際ローター第2680地区 8月20日
西川 敏彦会員 高砂青松R.C 8月27日
伊藤長次郎会員 神戸東R.C 8月20日
伊藤 輝彦会員 e-CLUB 8月27日

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

脇谷 政孝幹事……先日ちょっと“いいこと”がありました。
狩野 雄作会員……突然のご指名ありがとうございます。
山名 克典会員……三男が9月4日結婚致します。お祝い頂きますありがとうございます。
早退2名

◆親睦委員会報告

10月3日秋の家族移動例会の詳細が決まりました。多数のご参加をお願いします。

◆幹事報告 (2,816回)

◎ガバナー公式訪問は平成22年9月3日です。

- 1)「クラブ現況報告書」をご持参下さい。
- 2) 上着・ネクタイ着用をお願いいたします。
- 3) 例会終了時に写真撮影を行います。

◎高砂プロバスクラブより、会長宛に卓話依頼が届いております。

日時：平成22年9月9日(木) 11:30~12:00

場所：高砂商工会議所2F会議室

◎ガバナー事務所より「規定審議会への立法案提出のお願い」が届いております。

次回、2013年の規定審議会への立法案提出のためには、2011年の地区大会での承認が必要。本年末が各ロータリークラブからの提案提出期限。

◎姫路中央R.Cより、9月例会プログラムが届いております。

◎相生R.Cより週報が届いております。

◎ロータリーカードコーディネーターより「ロータリーカード入会キャンペーン」のお知らせが届いております。入会ご希望の方は事務局宛で連絡下さい。

◎財団法人兵庫県健康財団より「がん征圧のための寄附金募集」についてご依頼が届いております。

◆会長の時間

私どもは、世の中に対して政治が悪い、社会が悪いと不満をぶつけます。そしたらこの世の中の仕組みを思う時、この不満はどうして生まれるのか、世の中の根幹は法で形成されていると思います。つまり法律によって世の中はいろいろな変化をしてしまうと云うことです。これは経済、教育、そして人生までも影響を受けます。規制を極端に緩和するとそれによって多種多様な弊害や悪害がでてきますし、また急激な規制強化をすると自由な発想や行動が阻害されます。この10年間はまさしくこの両極端の時代ではないかと思えます。

私の業界も平成14年に法が大きく変わり、40年以上続いた免許制を許可制にするとともに、原則、需給調整を廃止し新規参入の門戸を広げました。つまり市場競争原理を導入し、それによって多様なサービスを提供し需要に応えようとしたのです。しかし、法の整備の不具合からその趣旨に運用が伴わなく供給過多になるとともに需要の奪い合いとなり、弊害が生じ僅か7年でこの法律に特別措置法を適用し再規制がかかりました。この流れに私たち事業者は、国に対してまた、それを運用する行政に対して不満をぶつけるのですが、よくよく考えると当時の規制緩和は時代の背景とともに国民の総意であり、それによって法案化されました。ただ私たち事業者は規制緩和の名の下何でもありと思ひ、色々な事業者が参入し、既存の事業者もそれに対応すべくモラルハザードを超えてしまい、これらの経緯がこのたびの特措法が適用された理由であります。また、この再規制も私たち事業者が当時から望んだものであって、それによって法案化されたところもあります。

私の考えは、法と民と官のトライアングルが見事な正三角形のバランスが保たれた時、世の中というものが良くなるのではないかと思えます。法は人の思いで形成され、行政はそれを運用する。法が偏った一部の既得権であったり、優遇者の道具であったり、また権力の道具であったりすると、歪なバランスになってしまいます。法は常に平等であり、その運用は全ての者のためにあると理解しなければならないと思えます。

◆本日のプログラム

卓話「会員増強について」

狩野雄作会員

今期、会員増強委員長を拝命しています狩野です。この8月が国際ロータリーでいう会員増強の強調月間となっておりますので、甚だ拙い話ではありますが、思うところを述べさせて戴きます。

会員増強に関しては4月29日開催の地区協議会、



信原智彦会長



狩野雄作会員

6月12日開催の会員増強セミナーを通して活動が抱える問題なり、その背景なりを学んできました。地区協議会では

- ・会員増強活動には地域特性があるので、地域内の情報交換がもっと必要なこと
- ・活動は委員会任せではなく、全員で考えさせること、従って強調月間中の卓話は控えること等の話がありました。

それを受けた会員増強セミナーでは東播第2地区の高砂青松、加古川、加古川中央、加古川平成のメンバーと色々と意見交換することが出来て非常によい機会となりました。夫々の置かれた状況に違いはあれど、悩みは共通していたように思います。

「ロータリーは単なる社交クラブではない、基本を学んで研鑽する場所である」とは地区協議会での中村前ガバナーのお言葉でした。そしてテキストには自らの奉仕活動を通じ地域社会に貢献していく（地域を育む）こと、親睦の機会を増やし、ネットワークづくりを進めていくことの重要性が述べられていました。ロータリーとは個人を磨きながら地域社会に貢献することなのだと思いに理解したところです。

会員を勧誘するためには、本来はロータリーの基本思想、会の諸規則は無論のこと、ロータリーの長所・短所を自分なりに評価して伝えてあげることが必要だろうと思います。良いところばかりPRするのは反って失礼にあたると思うからです。しかし実際には個人的な繋がり、即ち「まあ大した負担にならないから、まずは気軽に入ってみたら？」といったノリの勧誘のやり方が多いのではないのでしょうか。

私はそれも致し方ないと思っています。要はそれを補完するためにロータリー入会後に基本学習を繰り返し行えばよいのです。私も実際に受けましたが、最初の歓迎レッスンだけで理解するのは甚だ難しいので、特に入会歴の浅い若手会員同士で膝を突き合わせて学習すれば理解は更に深まるように思いました。そこまでやった上で「ロータリーの考え方が肌に合わない」と言われたとしたら、退会は避けようもなく、致し方ない事だと思えます。

問題はいつの間にかコミュニケーション不足に陥ること、普通のように声掛けが出来なくなってしまうことです。これは地域社会、企業社会にもよくある話です。これを防ぐためには親睦委員会を始めとした各委員会と協力してもっと接触の機会、イベントを増やし、欠席がちな場合でも推薦者や同業会員を中心に声を掛けていく、皆があなたのことを心配しているよ、といった厚巻きの姿勢、対応を採っていく他はありません。

勧誘という行為には情熱と勇気が必要です。このことと一緒に語るのは不適切かもしれませんが、一流と言われる生命保険の外交員を見て下さい。全く興味の示さない相手に対して相手を怒らすことなく、粘り強く会話のやりとりをし、いつの間にか自分のペースに相手を引き入れていくスーパーウーマンがいます。勧誘行為には情熱、勇気以外に営業的、社交的なセンスも必要でしょうが、自分からアクセスする姿勢、相手の懐に飛び込んでいく姿勢が大事だと思います。

そうした積極性と勤勉性、面倒見の良さが目に見えるようになれば、このロータリーが単なる社交倶楽部と見る向きはなくなるように思います。

一方で、会員増強セミナーでは、加古川、高砂の他ロータリーの面々からすべからず「無理な会員拡大は急激な減少も招く」という意見が出されました。ここ数年の退会の傾向として特に入会して間のない若手経営者に多いので、入会以降のフォローが大事であるとのことでした。セミナー全体のトーンも勧誘行為よりも退会防止に重きを置いている風でありました。従い、勧誘は情熱と勇気だ、などと申し上げましたが、高砂ロータリーもそんな方向（退会防止）に力点をもっと置くことが必要だと思います。会員になってじっくりとロータリーの基本を学び、仲間の輪を広げ、広く地域に貢献することに喜びを見出してもらうことで、その会員がまた新しい会員を呼べるような、そんな拙速に走らない、ゆったりしたスピード感でも良いような気がしています。

今期の目標は会員数を50名の大台に乗せることと置きました。会員増強委員会として目標は目標として着実に達成すべく、皆さんの協力を得ながら積極的な声掛け、勧誘を行っていきます。が、一方では入会後のゆったりとした雰囲気になりながら、ロータリーの良さを少しでも短期間の中で感じてもらえるよう、より実効性のある会の運営にするための議論にも加わっていきたいと思います。

以上、偉大な諸先輩方を前にして、生意気な原則めいた話をしてしまいました。入会后1年少しを経過してようやくロータリーのことを多少でも考えるようになったか、と苦笑して下さい。

ご清聴、有難うございました。

会長 信原 智彦 幹事 脇谷 政孝
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 大久保義郎
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/